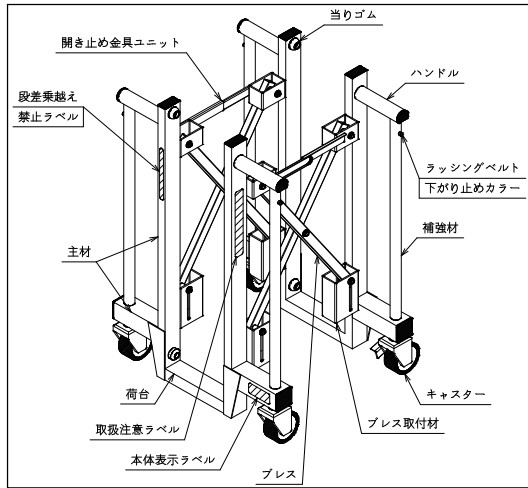


取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。

- △ 注意**
- 折りたたみ式台車は、正しく使われていないと荷崩れや破損の危険があります。お使いになるときは、荷物の安定した状態を確認してください。
 - 使用時及び移動時は平らな場所で行ってください。
 - この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。



表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△ 危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△ 警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

△ 注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。



このマークは、禁止（してはいけません）を示します。



このマークは、強制（必ずすること）を示します。



（絵表示について）
警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書の中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると、感電して危険であることを注意しています。



手をはさまないよう注意

可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを注意しています。

安全作業のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。
なお、本書では『折りたたみ式台車』を『台車』と表現しています。

1. 使用条件について



△ 警告 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

荷物の合計重量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。



△ 警告 台車としての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、合板や石膏ボード等の板状の荷物を運搬するために作られた「台車」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、荷崩れや製品の破損による重大な事故の恐れがあります。



△ 警告 台車を加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。



△ 注意 作業に適した服装で使ってください。



製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で作業しないでください。



△ 注意 貼り付けのあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は、使わないでください。

必ず、弊社からラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。



△ 注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
 - 薬やお酒を飲んだとき
 - 病氣や妊娠しているとき
 - 身体に異常を感じるとき
- 身体がバランスが保てず、荷崩れや暴走の恐れがあります。



△ 注意 お子様や取扱説明書・製品のラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や製品のラベルには安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。



△ 注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うよう指導してください。

2. ご使用になる前に



△ 警告 使う前には、必ず「取扱説明書」のとおり台車を使用状態にしてください。

正しくセットされていないと、製品が折りたたまれ、重大な事故につながる恐れがあります。



△ 警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常の無いことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。



△ 警告 変形した台車を使わないでください。

この製品は、アルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいじりしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは



△ 注意 折りたたんで持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。



△ 注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて荷崩れや、製品が破損する恐れがあります。

4. 使用する場所について



△ 危険 使用するときや持ち運びするときは、配電線に注意してください。

この製品は電氣を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる恐れがあります。



△ 警告 台車が安定しない場所では、使用しないでください。

使用場所が下記の状態では、台車が安定せず荷崩れしたり、台車に無理な力がかかって製品の破損の恐れがあります。

- 柔らかい地面で、台車が安定しない場所。
- 段差があったり、凹凸が激しい場所。
- 台車がガタつく場所。
- 傾斜している場所。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。



△ 警告 傾斜地で台車を放置しないでください。

台車が暴走して大事故になる恐れがあります。



△ 注意 雨天や水のかかる場所で使用しないでください。

製品が腐食し、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。



△ 注意 火気の近くに置かないでください。

やけどや火災の原因になります。



△ 注意 足元や周囲がはっきり見えない暗がりでは、使用しないでください。

大きな段差に衝突したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、重大な事故につながる恐れがあります。

5. 台車を使用するとき



△ 警告 人を乗せないでください。



△ 警告 転倒や転落の恐れがあります。



△ 警告 車などで牽引しないでください。



△ 警告 台車が暴走して重大な事故につながる恐れがあります。



△ 警告 可動部や回転部などで手をはさまないように注意してください。



けがをする恐れがあります。



△ 注意 両側の開き止め金具ユニットを確実にロックして使用してください。



△ 注意 製品が折りたたまれ、重大な事故につながる恐れがあります。



△ 注意 荷物を積むときは、キャストのストッパーを掛けた状態にし平坦な場所で行ってください。



△ 注意 台車が暴走して重大な事故につながる恐れがあります。



△ 注意 荷物は台車の奥行方向中心に載せてください。



△ 注意 荷崩れしたり、台車が転倒する恐れがあります。



△ 警告 運搬中は周囲の人に近づきすぎないように注意してください。

特に前方を歩行中の人に近づきすぎると衝突したりして重大な事故の原因になります。



△ 注意 荷物をラッシングベルトで固定してから使用してください。



荷崩れの恐れがあります。



△ 警告 キャスターのストッパーを掛けた状態で前後方向に動かせないでください。



荷崩れしたり、転倒の恐れがあります。



△ 注意 キャスターに横方向から力が加わる使いかたをしないでください。

キャストが破損して、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。



△ 注意 移動時はハンドルを持って行ってください。



△ 注意 台車に異常な力が加わり、荷崩れしたり、製品が破損するおそれがあります。



△ 注意 荷台に濡れたものを載せないでください。



△ 注意 製品が腐食し、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。



△ 注意 壊れやすいもの、危険物、薬品等は運搬しないでください。



△ 注意 荷物が破損したり、健康を害したり、重大な事故につながる恐れがあります。



△ 注意 無理に段差を乗越えないでください。



△ 注意 台車に異常な力が加わり、荷崩れや製品が破損する恐れがあります。



△ 注意 荷積みしたまま台車を離れるときは、平坦な場所でキャストのストッパーを掛けてください。



△ 注意 台車が勝手に動きだし、重大な事故につながる恐れがあります。



△ 注意 壁や障害物にぶつけないように注意してください。



△ 注意 台車に異常な力が加わり、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。



△ 注意 石膏ボードを積むときは、製品を養生して使用してください。



△ 注意 石膏ボードが破損する恐れがあります。

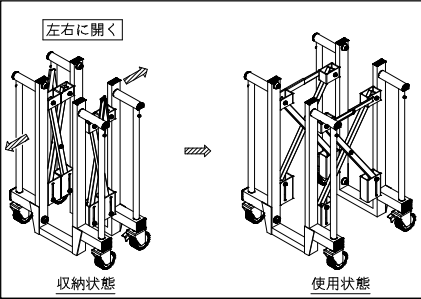
台車の使いかた

1. 使用場所について

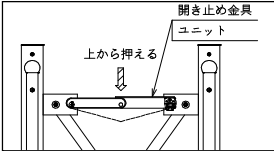
- 平坦で安定した場所、滑りにくい地面や床、傾斜していない場所、またキャスターが埋もれない場所を選んで使用してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所で使用してください。
- 台車の周囲に危険なものや火気がない場所で使用してください。

2. 使いかた

- ① 本体を水平な床面に仮置きします。
- ② 製品を左右に引っ張り開く。

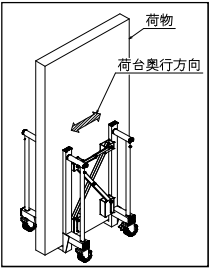


- ③ 開き止め金具ユニットを下図の↓位置で上から押えて確実にロックしてください。

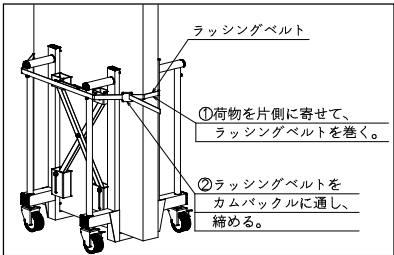


- ④ キャスターのストッパーを掛け、荷台に荷物を載せる。

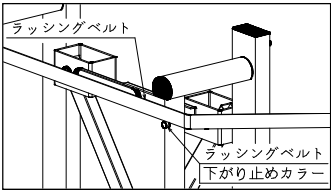
- ⑤ 荷物は台車奥行方向の中心に載せてください。



- ⑥ 下図の手順でラッシングベルトを巻いてください。



※ラッシングベルトは、下記図のように補強材に付いている、ラッシングベルト下がり止めカラーの上に通してください。



- ⑦ 石膏ボードを載せるときは、石膏ボードの破損を防ぐため製品を養生してから使用してください。
- ⑧ キャスターのストッパーを解除し、ハンドルを持って移動してください。

ご使用前の点検

台車をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1. 目で見て、下記の点検をしてください。

- ① 荷台部にグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
- ② 主材、プレスなどの各部に曲がり、ネジレ、へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ③ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は絶対に使わないで廃棄してください。
- ④ リベット、ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

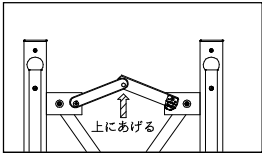
- ⑤ キャスターの車輪がすり減ったり、外れたりしていませんか。すり減ったり、外れたりしている場合は、絶対に使わないでください。必ずご購入の販売店までご相談いただき、新しいキャスターと交換してください。

2. 下記の箇所を触って点検をしてください。

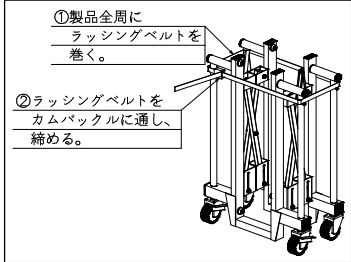
- ① 各部の接合部をねじってみて、ガタガタしないか点検してください。ガタガタしている場合は絶対に使わないで廃棄してください。
- ② キャスター、プレス、開き止め金具がスムーズに動きますか。スムーズに動かない時は泥やセメント・ゴミの噛みこみがないか点検し、あれば取り除いてください。

3. 収納のしかた

- ① 開き止め金具ユニットを下図の↑位置で上にあげて、ロックを解除してください。



- ② 製品を折りたたむ。
- ③ 製品が開かないよう、下図の手順でラッシングベルトを巻いてください。



使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

台車にとって泥・泥水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

- ① 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- ② 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③ 油系の汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠ 注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。



2. 保管のしかた

- ① 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
- ② 台車が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

故障かな？と思ったら（不調診断）

〈現象〉 ●使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
ボルト・ねじ・ピンなどにゆるみや抜け落ちはありませんか。	ゆるみがある場合は、ボルト・ねじは増し締めを行い、それ以外は、使わないで廃棄してください。
キャスターの車輪がすり減ったり、外れたりしていませんか。	ある場合は、使わないでください。（弊社までご相談ください。）

〈現象〉 ●大きくガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
主材や荷台に曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉 ●スムーズに開閉できない。 ●開き止め金具が確実にロックできない。

点検する箇所	処置のしかた
プレスに曲がりや変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
プレスやプレス周辺に異物が付着していませんか。	ある場合は、異物を取り除いてください。
開き止め金具ユニットに変形はありませんか。	ある場合は、使わないでください。（弊社までご相談ください。）
ロック部の機能がそなわれるような破損や変形、サビ付きはありますか。	ある場合は、使わないでください。（弊社までご相談ください。）

- 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具はいちじるしく強度が落ちており、手直しても本体や金具の破損が起こり、荷崩れなどによる重大な事故の原因になります。

ピカ コーポレイション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00～17:00まで)

■ホームページアドレス <http://www.pica-corp.co.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。